

◆ 新任教員

佐々木 愛一郎 准教授
近畿大学 工学部 電子情報工学科



◆ 専門分野

電磁界工学

◆ 担当授業科目

通信工学，信号処理工学，ベクトル解析

◆ メッセージ

大学で物理学を学んだ後、NTTの研究所で20年間研究開発に従事しました。入社後は最初の4年間は、ミリ波と呼ばれる周波数の高い電波と光の融合技術の研究を通し、優秀な先輩方から研究者としての基礎を学びました。その後は、電界・磁界を使った近距離無線通信や、光を利用した電磁界計測技術に関し、基礎研究から実用化開発まで様々なフェーズの仕事に携わりましたが、一貫して電磁気学に関わるテーマに取り組んできました。

現代の高度な電子情報通信技術は、電磁気学という強固な基盤の上に成り立っています。単純さと豊かさを併せ持つ電磁気学への理解を深めながら、個性豊かな近大生と共に、電子情報通信のブレークスルーを生み出す研究に取り組んでいきます。

◆ 主要出版物

- [1] 佐々木愛一郎，都甲浩芳，「光技術を利用した電磁界計測」，電子情報通信学会誌，vol. 101，no. 2，pp. 166–173，Feb. 2018.
- [2] A. Sasaki, O. Ouellette, M. B.-Marchand, A. Hirata, and H. Morimura, “Analysis and experimental study of magnetic-field amplification by a double coil,” *IEEE Trans. Industrial Electron.*, vol. 64, no. 4, pp. 3216–3226, Apr. 2017.
- [3] A. Sasaki, T. Ishihara, N. Shibata, R. Kawano, H. Morimura, and M. Shinagawa, “Signal-to-noise ratio analysis of a noisy-channel model for a capacitively coupled personal area network,” *IEEE Trans. Antennas Propag.*, vol. 61, no. 1, pp. 390–402, Jan. 2013.

◆ 略歴

2018年4月 – 現在	近畿大学工学部 電子情報工学科 准教授
1998年4月 – 2018年3月	NTT 先端技術総合研究所
1996年4月 – 1998年3月	東京大学大学院 理学系研究科 物理学専攻 修士課程
1992年4月 – 1996年3月	東京理科大学 理学部 応用物理学科